



生育をよく見て追肥！

水稻「えみまる」湛水直播栽培の施肥管理

概要 Abstract

湛水直播栽培における「施肥標準量」「追肥要否判定基準」「倒伏軽減剤の要否判定基準」を明らかにしました。

成果 Results

①窒素施肥標準量

移植栽培一般うるち米に同じ

(kg/10a)

低地土		泥炭土	火山性土	台地土
水はけ				
良	劣			
9.0	8.5	7.0	9.5	8.5

収量	倒伏	品質
540kg/10a	なし	良好

倒伏なし：稈長70cm以下、品質良好：> 整粒歩合70%以上

③倒伏軽減剤

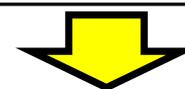
出穂前に草丈が85cm以上になりそうなら使用

➤ 早めに確認して速やかに散布しよう。

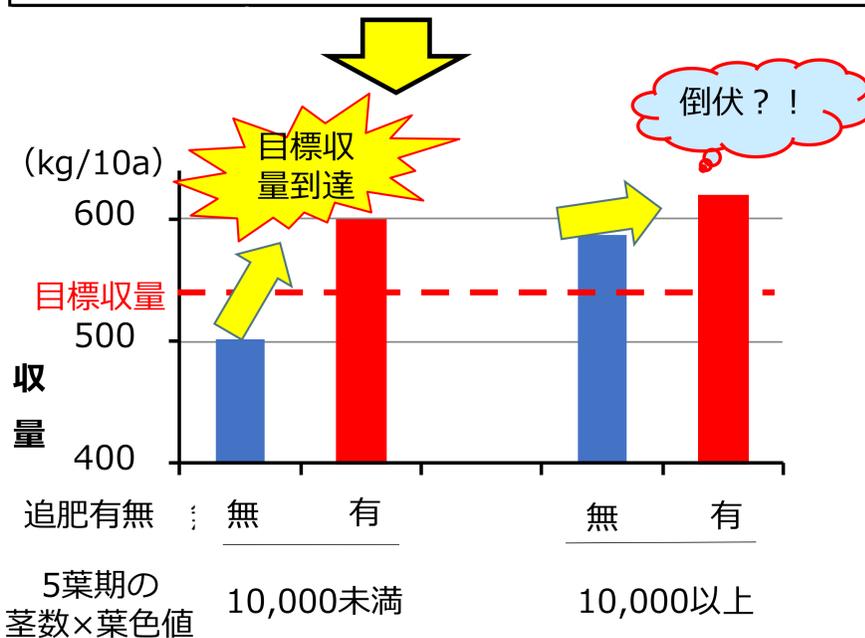
②追肥の必要性

茎数と葉色値で判断

判定時期	茎数 (本/m ²) × 葉色値
5葉期	10,000未満
幼穂形成期	28,000未満



追肥	
窒素2kg/10a	5葉期～幼穂形成期



➤ 高地力の水田（泥炭土、復田初年目）や窒素施肥量が少ない水田には適合しません。



➤ 倒伏した「えみまる」



➤ 倒伏なく多収となった「えみまる」

普及 Dissemination

- 播種後の落水期間のめどは2週間。
- 多収を目指す場合でも、窒素施肥量の上限は施肥標準量+追肥2kg/10aです。

連絡先 Contact

上川農業試験場
研究部 生産技術グループ
0166-85-2200
kamikawa-agri@hro.or.jp